



平成 28 年 7 月 29 日

〔照会先〕

埼玉労働局職業安定部

職業安定課長 進藤 容子

課長補佐 小室 幸士

電話番号 048 (600) 6208

平成 27 年度ハローワークのマッチング機能に関する
取組結果の公表について

厚生労働省埼玉労働局（局長 田畑 一雄）では、P D C A サイクルによる目標管理により業務改善を進め、マッチング機能の強化に取り組んできたところですが、平成 27 年度からは、目標管理の取組を抜本的に拡充し、全所必須指標や所重点指標を設定した上で目標達成に向けて取り組んだほか、中長期的な業務の質の向上や継続的な業務の改善を図ってきました。今般、平成 27 年度における取組結果を取りまとめましたので公表いたします。

- 1 取組結果 別紙 「就職支援業務報告（平成 27 年度）」参照

ハローワーク川口 就職支援業務報告（平成 27 年度）

別紙

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、求人充足件数及び紹介成功率の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、紹介部門と求人部門による求人充足会議を年間 33 回行い、223 件の求人を選定し、管理選考による求人の充足を図る取組を行いました。充足件数は 35 件。

また、求人充足のためのミニ面接会等を年間 107 回行い、就職件数は 84 件となり、大きな効果があり、求人者から評価をいただいている。

さらに、平成 27 年度から求人担当者制を開始し、求人充足に対する新たな取組を始めている。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人担当者制を開始した。また、利用者アンケートでは、マザーズコーナーについて、子育て中の求職者に、利用しやすいサービスが整っていると評判がよいので、あとはいかにして、マザーズコーナーへの求職者を増やすかであり、現在、紹介部門全体でマザーズコーナーへの積極的誘導を実施中である。

庁舎等の関係で受付のスペースが狭い、道案内が少ないという意見もあるが、物理的に難しい問題であり、改善は簡単ではない。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

求人担当者制とミニ面接会等の充実を図っていく。特にミニ面接会については、事業所からの要望に基づいて行うケースも多くあり、職種が偏る面もあるので、面接会の対象事業所の選定について改善を図ることとする。

（4）その他業務運営についての分析等

当所管内の主要産業である鋳物業、機械産業はすべてが中小企業であり、産業の特殊性もあり、なかなか求職者が集まらない実態があるので、今まで以上に事業所との連携を深め、求人充足ができる体制を整えていく。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者早 期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護 受給者等の 就職件数	障害者の 就職件数	学卒ジョブサポ ーターの支援に よる正社員就職 件数	ハローワークの 職業紹介によ り、正規雇用に 結びついたフリ ーター等の件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける担当者制に よる就職支援を 受けた重点支援 対象者の就職率	正社員 求人数	介護・看護・ 保育分野の 就職件数
実績	5,442	5,330	3,038	96.1%	98.1%	13.8%	550	278	276	831	89.8%	14,768	521
目標	5,893	5,519	2,955	90.0%	90.0%	11.2%	352	259	275	720	87.5%	13,947	500
目標達成率	92%	97%	103%	—	—	123%	156%	107%	100%	115%	103%	106%	104%
(参考) 過去3年度 平均	6,114	5,719	3,013										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

求職者の状態とニーズに応じたきめ細かい就職支援が重要と考え、特に求職者個別担当者制の充実、履歴書・職務経歴書の添削の実施、就職面接会を多数回開催することとした。若年者就職面接会では、15 事業所、60 人の求職者の参加で5人の就職となった。ミニ面接会は、33 回開催し、13 人の就職となった。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

個別担当者制、履歴書・職務経歴書の添削、雇用保険受給者の初回相談の要領を作成して、職員・相談員が同じ方向性で業務を行うようにした。また、利用者の多い窓口誘導し易いようにボイスコールの設置場所の見直しを行った。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

求人者担当制は、開拓求人を中心に求人部門でマッチングまで実施したが、今後は求人充足会議の充実を図り、職業相談部門との連携を強化する。

また、双方向による個別担当者制による就職支援を強化する。

（4）その他業務運営についての分析等

各部門・各担当が担当する業務の進捗状況に意識が偏る面がある。就職件数や充足数は、ハローワーク全体の業務の集大成である旨を理解して、部門間・担当間の連携をさらに進める必要がある。求人充足会議や研修を通じた意識改革を行っていく。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護 受給者等の 就職件数	障害者の 就職件数	ハローワークの 職業紹介によ り、正規雇用に 結びついたフリ ーター等の件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける担当者制に よる就職支援を 受けた重点支援 対象者の就職率	正社員 求人数	—	—
実績	3,666	3,541	1,422	96.1%	98.3%	17.0%	206	213	821	91.4%	8,469	—	—
目標	3,907	3,768	1,249	90.0%	90.0%	15.3%	193	210	943	87.5%	7,621	—	—
目標達成率	94%	94%	114%	—	—	111%	107%	101%	87%	104%	111%	—	—
(参考) 過去3年度 平均	4,176	3,942	1,293										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

人手不足分野の職種の充足が重要と考え、人手不足分野の職種を主にしたミニ面接会を 20 回開催し、同職種の採用者 2 名に結びつけることが出来た。

雇用保険受給者を早期再就職に結びつけるため、認定日に雇用保険受給者全員に最新の求人情報を提供、初回認定日においては、希望条件の細かな確認などの職業相談を実施した。

当所職員による職業訓練制度の説明と、近隣で開講予定の職業訓練実施機関担当者を招いてコースの説明を行う、職業訓練説明会を月 1 回開催した。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求職者の待合スペースに職業訓練の案内スタンドを設置し、職業訓練の周知の充実を図った。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

就業場所が管外・県外の求人が多いことから（平成 27 年度新規求人の 20%）、就業場所の安定所と連携し求人の充足に取り組んでいく。

平成 28 年度から、雇用保険受給者の緊要度の把握と給付制限中の安定所への来所を促すための「就職希望アンケート」の実施を予定している。

（4）その他業務運営についての分析等

新規求職者の減少（前年度より 5.6%減）に比べ紹介件数の減少（前年度より 8.5%減）が大きいことから、窓口での職業相談をより充実させ、プラスワン紹介の積極的な実施など引き続き紹介件数の増加に繋がる取組を行っていく。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者早 期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護 受給者等の 就職件数	障害者の 就職件数	学卒ジョブサポ ーターの支援に よる正社員就職 件数	ハローワークの 職業紹介によ り、正規雇用に 結びついたフリ ーター等の件数	—	—	—
実績	1,752	1,530	567	100.0%	100.0%	20.1%	187	94	94	440	—	—	—
目標	1,934	1,710	565	90.0%	90.0%	17.7%	115	88	47	456	—	—	—
目標達成率	91%	89%	100%	—	—	114%	163%	107%	200%	96%	—	—	—
(参考) 過去3年度 平均	2,058	1,755	572										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク大宮 就職支援業務報告（平成 27 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職件数の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、求職者担当者制による就職支援、正社員求人の獲得やフリーターの正社員就職への取組などを行いました。

具体的には求職者担当者制の実施、応募書類の作成・添削指導を積極的に行い、紹介成功率は目標の 9.4%を上回る 11.5%となり目標達成率は 122%となりました。

フリーターの正社員就職については、ハローワークプラザ大宮での雇用保険認定日における職業相談を通じて、わかものハローワークの利用を積極的に促し、わかものハローワークにおいて求職者担当者制による就職支援に取り組むことにより、ハローワーク紹介で正規雇用となったフリーター等の就職件数は 1,267 件となり、達成率は 107%となっています。

学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職に力を入れ、就職件数は 2,437 件、目標達成率は 120%となっています。

介護・看護・保育等人手不足分野については、ツアー面接会を年間 13 回開催し、延べ 112 人に参加いただきました。実際に働く職場を見学し、会社の人から事業説明を受けてから応募を決めるため、定着状況も良いとの評価をいただいています。また、福祉の仕事セミナーは、年間 12 回実施し 227 人の参加があり、参加目標の 150 人を大きく超えました。

当所管内には、全国に営業所等を置く企業の本社も多くあることから、正社員求人の獲得についても積極的に取り組みました。求人の更新時などの機会を捉え、正社員雇用のメリットなどを説明し、キャリアアップ助成金の活用なども視野に入れた契約社員等から正社員への切り替えを働きかけました。その結果、正社員求人は目標を 6%上回る 32,114 件を達成しました。

管内自治体との連携による取組としては、鴻巣市との共催による「ジョブサポートこうのす「若者就職面接会」、上尾市・桶川市・北本市・伊奈町との共催による「若者就職面接会」を開催しました。また、生活保護受給者等を対象に、さいたま市の各区に設けられた「ジョブスポット」を活用した就労支援を行うとともに、上尾市・桶川市・北本市につきましては、就労支援員が巡回相談を行いました。各市からは、これらの就労支援に係る取組について評価をいただいているところです。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

少子高齢化の中で必要な人材を確保していくためには、企業において「魅力ある職場作り」を進めることにより、採用と定着を向上させていくことが重要となっています。このため、沖縄労働局の取組を参考として、「雇用管理改善説明資料」を策定し、雇用管理改善のための助成金

の紹介を含め、事業主への周知・啓発に努めました。

(3) 今後のサービス・業務改善の取組について

(1) のとおり取り組んだ結果、以下の「マッチング関係業務の成果」のとおり一定の成果があったものと考えています。一方で、課題等もあることから、今後については、以下の点を中心に業務の改善を図り、一層のマッチング機能の強化に努めます。

若者の就職支援については、タイムリーな面接の機会を提供するためミニ面接会を積極的に開催します。

マザーズハローワークでの就職支援セミナーの実施回数の増加を図り、マザーズハローワークの利用促進を図ります。また、マザーズハローワーク及びわかものハローワークにおいて、訓練に関するセミナーを定期的で開催するほか、入校案内から受講指示等に至るまでの一貫した支援を実施します。

介護・看護・保育の仕事ツアー面接会については、参加された皆様から大変好評であったため、実施回数の増加を図るとともに、行田所との合同面接会を実施します。

自治体との一体的実施事業については、今後も自治体との連携を深め、生活保護受給者・児童扶養手当受給者等の就労支援を積極的に実施します。特に児童扶養手当受給者に対しては、管内全ての市において出張職業相談を実施します。

雇用保険受給者の早期再就職を促進するため、認定日を捉えて、積極的に求人の提案・情報提供を行います。

(4) その他業務運営についての分析等

平成 27 年度の状況といたしましては、求人数の増加は見られましたが、増加した求人の内容が、もともと求人倍率の高い建築技術者、看護師・准看護師、保育士、施設介護員等の職種が多かったこと、高年齢求職者の就職先でもある警備員等の保安の職業や清掃関係の職業では求人数に減少がみられたことなどが、就職件数及び充足数が目標に届かなかった一因でもあると考えています。今後も労働市場の状況を求人者・求職者双方に周知し、ミスマッチの解消に努めます。

上向きな求人状況は、非正規求人から正社員求人への転換や雇用保険受給者の早期再就職促進の好機でもあると捉えています。平成 28 年度は、職員による求職者担当者制の拡大や雇用保険受給者への働きかけをより強化するとともに、職員のスキルアップを図るための研修を積極的に実施し、目標の達成や更なるマッチング機能の向上に努めていきたいと考えています。

2 総合評価 (※)

成果向上のため計画的な取組が必要

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護 受給者等の 就職件数	障害者の 就職件数	学卒ジョブサ ポーターの支 援による正社 員就職件数	ハローワーク の職業紹介に より、正規雇 用に結びつい たフリーター 等の件数	マザーズハロ ーワーク事業 における担当 者制による就 職支援を受け た重点支援対 象者の就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数	介護・看 護・保育分 野の就職 件数	建設分野 の就職 件数
実績	7,802	6,893	3,734	92.4%	98.0%	11.5%	819	508	2,437	1,267	88.6%	32,114	4,159	720	279
目標	8,242	7,657	3,851	90.0%	90.0%	9.4%	845	498	2,023	1,189	87.5%	30,326	4,420	765	290
目標達成率	95%	90%	97%	—	—	122%	97%	102%	120%	107%	101%	106%	94%	94%	96%
(参考) 過去3年度平均	8,712	7,981	3,954												

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所は、県西部地域の拠点としての機能発揮が重要となっています。この中で、自治体との連携に基づく個別支援による「生活保護受給者等の就職件数」及び人材不足分野への人材確保のための「介護・福祉・保育分野の就職件数」を最重要と考え、特に重点的に取組を進めました。

生活保護受給者等の就職支援については、対象者の受給の長期化、高齢化等が進み就職の困難性が高くなる中、各自治体と月1回以上の連絡会議や生活保護受給者等が福祉部門での相談の際に必要な応じてケース会議を綿密に行うとともに、ミニ面接会を4回開催し、支援対象者570人のうち就職が413人、就職率72.5%（平成26年度：対象者622人、就職433人、就職率69.6%）の実績を上げることができました。管内すべての自治体から、連携事業の継続・一層の拡充を要望されています。

また、福祉分野の人材確保に向けては、ミニ面接会を4回、ツア一面接会を3回、セミナーを9回、規模を西部地域に拡大した面接会を2回開催し、福祉分野の就職745人（平成26年度682人）の実績を上げることができました。各面接会の実施に当たって、平成27年度は、事前に参加事業所に出向き採用担当者から事業所の実態や求める人材等を聴取し、把握した情報を求職者に提供して面接対象事業所の絞り込みを行うとともに、参加事業所のリーフレットを分かりやすく所内のエントランスに掲載してPRしたところ、求人事業所及び求職者から評価を得ることができました。加えて、面接会終了後、参加事業所及び求職者のフォローアップとして、窓口での相談のほか、採用時期を捉えて面接会を再度開催し、求人の条件緩和に努め、求職者への情報提供を丁寧に行い雇用に繋げました。福祉関係職種希望者及び事業所からは、継続した、より詳細な情報提供・面接会開催等についての要望が上がっています。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

当所では、フレッシュ求人、条件緩和求人、正社員求人、福祉系求人などをエントランスに掲示していますが、これまでは、職種・仕事の内容等画一的なマーカー表示となっており、利用者から分かりやすい表示をしてほしいといった意見があったことから、それぞれのポイントを色を変えマークする、事業所画像情報を併せて掲示するなどの改善を行いました。また、福祉の面接会参加事業所の就業場所を周辺市町村地図で表示し、事業所PRを付すなど求人票以上の情報提供を行いました。利用者からは「応募検討しやすくなった」、「自宅から就業場所までの通勤ルートや事業所の雰囲気などイメージしやすくなった」といった評価を得ることができました。

(3) 今後のサービス・業務改善の取組について

平成 27 年度は、2 自治体から当該市内の保育園の人材確保について相談を受け、各々の自治体と共催で「保育士面接会」を開催しました。近隣での就労・雇用を希望する業界・職種であること、求人条件を幅広く検討していただいたことなどから、いずれの回も参加求職者の 50%を上回る方の採用が決定するという高い成果が得られました。平成 28 年度は、管内の各自治体から面接会開催要望が見込まれるため、労働市場圏を考慮して 5 市と共催で保育士等の面接会を開催する予定です。

また、障害者の就職促進について、当所では面接会を年度内 2 回、エリアを分けて実施していますが、自治体や求職者から、交通のポイント地であり、求人対象事業所の多い中核市での開催が要望されていることから、中核市においても面接会を開催することとしています。

(4) その他業務運営についての分析等

正社員就職に向けて、わかもの支援コーナーにおいて個別相談やセミナーを開催していますが、平成 27 年度はステップを踏んだセミナーの受講を希望する求職者が多かったことから、22 回（年度当初予定 12 回）のセミナーを開催しました。就職意欲の喚起、実際の就職に結びつくきっかけとなるなど、受講者からは好評でした。平成 28 年度においても受講要望が多くあることから、回数を増加して開催する予定です。

また、雇用保険受給者に対して、早期段階に個別にコーナーにおけるマンツーマン支援を案内すると、躊躇する方が多くみられました。このため、平成 27 年度第 3 三半期から、講習会などでナビゲーターが具体的な成功事例を引用して周知を図り、その場でコーナーにおける相談への誘導を図ったところ、個別支援対象者が増え、就職に結びつくケースが多くなったことから、今後は、引用する成功事例を豊かにするなどして、この取組を継続します。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者早 期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護 受給者等の 就職件数	学卒ジョブサポ ーターの支援に よる正社員就職 件数	ハローワークの 職業紹介によ り、正規雇用に 結びついたフリ ーター等の件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける担当者制に よる就職支援を 受けた重点支援 対象者の就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数	介護・看護・ 保育分野の 就職件数
実績	5,888	4,758	2,812	87.0%	95.0%	14.5%	413	417	1,134	90.0%	12,820	3,009	745
目標	5,751	4,545	2,643	90.0%	90.0%	11.6%	270	377	1,234	87.5%	11,621	3,201	701
目標達成率	102%	105%	106%	—	—	125%	153%	111%	92%	103%	110%	94%	106%
(参考) 過去3年度 平均	5,956	4,781	2,710										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職件数の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、双方向性の担当者制の実施及び正社員求人や新規開拓求人を中心としたミニ面接会などの取組を行いました。

特にミニ面接会は目標の8回を上回る年間13回開催し、求職者が減少し参加求職者が少ない中で就職者が15人と、目標を達成することができました。

また、平成27年度後半から新たにハローワーク東松山に来所した新規求職者全てに対して対象求人の選定を行い、希望に沿う求人を郵送する取組を開始しました。この取組については、郵送した求人を持参して窓口に来所する求職者が増加しており平成28年度も継続していきます。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

比企地域では人口が減少する中、企業誘致等により人手不足感が強くなってきているため、求人受理担当者がマッチングから充足に至るまでのフォローアップを実施する担当者制を開始しました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

平成27年度実施した求人充足会議は、月1回開催しましたが、充足には結びつかなかったため、平成28年度から要領を変更し、今までの1か月紹介の無い求人のみを対象としていたものを2週間紹介の無い求人、及び充足の可能性の高い求人、さらに前年度より開始した求人担当者制で担当した求人を「充足強化求人」として会議に提案することとし、マッチングの強化へ改善を図ることとします。

また、平成28年度からは、毎月1回だった充足会議を、月2回に増やす予定です。

（4）その他業務運営についての分析等

比企地域の人口が減少する中で、圏央道の県内開通により企業誘致が進み管内の人手不足感が強くなっており、また、誘致される企業に食品系、物流系が多いこともあり非正規求人（パート）が多く、企業のニーズも近隣からの採用を希望するため、ミスマッチが生じハローワークの充足件数も伸びない状況が続いています。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

来所するすべての新規求職者に対して対象求人の選定作業を行い、希望に沿った求人を郵送することは、地道で時間を要する作業ですが、実際に郵送した求職者の30%程度が郵送後2週間以内に窓口に来人を持参し相談をしており、紹介件数、就職件数の増加に寄与しているため、平成28年度も継続して実施します。

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護 受給者等の 就職件数	障害者の 就職件数	学卒ジョブサポ ーターの支援に よる正社員就職 件数	正社員 求人数	—	—	—
実績	1,705	1,309	783	100.0%	98.0%	17.4%	154	99	390	3,134	—	—	—
目標	1,845	1,529	797	90.0%	90.0%	15.3%	77	94	356	2,823	—	—	—
目標達成率	92%	86%	98%	—	—	114%	200%	105%	110%	111%	—	—	—
(参考) 過去3年度 平均	1,964	1,576	800										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、主要指標の目標達成を最重要と考え、求職者ニーズに応じたきめ細かな相談・支援の実施及び効果的なマッチングによる充足促進を重点的に取組ました。特に、障害者の就職についてはチーム支援による連携強化や信頼関係の構築、また、生活保護受給者などの就労支援については市（区）と一体的に就労支援を実施しました。

具体的には、福祉関係職種を中心としたミニ面接会を 48 回開催し、参加者が 134 人、うち就職者が 19 人、及び正社員求人や急募求人を対象とした管理選考を定期的実施しました。充足会議は定期的開催し、充足可能性の高い求人を積極的に求職者に情報提供し、対象求人 203 件、充足数 78 件となりました。

また、障害者のチーム支援も 40 件の実績を上げ、生活保護受給者等については管内全て（5 区）にジョブスポットを開設し、浦和所就職件数の目標 710 件に対し、805 件の就職実績を上げることができました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

現在、求人への応募については書類選考が多く、選考結果に時間がかかるため、早急に仕事を探す方や面接を第一に希望する方のために、面接が即実施される求人を日ごろからチェックし、求人検索機の画面ボタンに「即面接求人」ボタンを設置しました（全国好事例活用）。

また、訓練コースも種類が多くなったことから、玄関ロビーや階段踊り場、マグネット壁面を活用し、わかりやすく利用者目線に合った掲載方法を工夫しました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

管理選考については 48 回実施しましたが、職種により偏りがあり、当日の参加者が少なかったことから、所内掲示の工夫や求職者への誘導方法等積極的な周知を図ります。また、当所独自の求人情報（事業所 P R 写真添付）の提供を積極的に実施します。

（4）その他業務運営についての分析等

ハローワーク特区協定に基づく「ハローワーク浦和・就業支援サテライト」の業務運営もあり特殊性もある中、国と県の役割分担も問題なく、それぞれのコーナーが連携協力し、効果を上げてきました。今後は、市（区）との「ふるさとハローワーク」、「ジョブスポット」の拡充のために連携を強化する必要があり、今後も引き続き関係団体・機関と連携し雇用対策に取り組んでいきます。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

ハローワーク特区協定に基づく連携事業も3年となり、県との連携・協力のもと円滑な業務運営を図りました。また、市の意向も踏まえ、管内全区にジョブスポットを開設（5か所）し、雇用と福祉施策を一体的に実施することができました。さらに、地域の事業主団体で労働行政に積極的な協力をいただいている浦和与野雇用対策協会と連携し、管内はもちろん隣接安定所管内への学校訪問や若年者を対象とした就職面接会を開催したことは、地元企業からも感謝の声をいただきました。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者早 期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	障害者の 就職件数	学卒ジョブサポ ーターの支援に よる正社員就職 件数	ハローワークの 職業紹介によ り、正規雇用に 結びついたフリ ーター等の件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける担当者制に よる就職支援を 受けた重点支援 対象者の就職率	正社員 求人数	介護・看護・ 保育分野の 就職件数	障害者チ ーム支援 による就 職件数
実績	4,696	4,764	2,200	96.5%	98.3%	12.5%	343	536	716	101.2%	11,345	460	40
目標	4,707	4,513	2,041	90.0%	90.0%	10.3%	308	609	849	87.5%	9,926	503	40
目標達成率	100%	106%	108%	—	—	121%	111%	88%	84%	116%	114%	91%	100%
(参考) 過去3年度 平均	4,680	4,741	2,075										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、「地方自治体との連携の推進」の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、管内 3 市に附属施設として設置したハローワークプラザ、ふるさとハローワークを利用させていただくことで、市民の皆様への利便性を図り、ニーズに応じたきめ細かな職業相談や各種支援のご案内に努めてまいりました。

特に、地方自治体との共催によるミニ面接会については、介護等の人手不足分野を中心に 8 回開催し、平均 22 人の参加者があり、うち就職者は延べ 22 人となり、共催の 3 市からは事業の継続が要望されております。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者からのご意見の中に、高年齢者向けの求人情報があると良いとのご希望がありました。このため、少子高齢化に伴う労働力の確保対策と高年齢者の応募の機会拡大のため、高年齢者の応募を積極的に受け付ける求人により「ハローシルバー求人情報」を作成し、配付を行うことでサービスの改善を図りました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

地方自治体との共催によるミニ面接会については、8 回開催しましたが、人手不足分野の仕事を中心に開催したことで職種にかたよりなどがあったことから、他のハローワークの取組なども参考にして、事前の周知等も十分に行い、より多くの求職者の皆様に参加していただけるよう改善を図ることといたします。

（4）その他業務運営についての分析等

当所の平成 27 年度平均の有効求人倍率は 1.30 と対前年度比で 0.38 ポイントの上昇となり、高水準で推移していることから、管内求人については一人でも多くの求職者の皆様とのマッチングを図り充足させることが急務となっております。このため、積極的に事業所情報をお伝えし、プラスワン紹介を行うなど効果的なマッチングを図り、管内企業への就職促進につなげてまいります。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者早 期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護 受給者等の 就職件数	障害者の 就職件数	学卒ジョブサポ ーターの支援に よる正社員就職 件数	ハローワークの 職業紹介によ り、正規雇用に 結びついたフリ ーター等の件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける担当者制に よる就職支援を 受けた重点支援 対象者の就職率	正社員 求人数	新規高卒者 の就職 内定率
実績	5,055	4,384	2,357	97.4%	93.1%	13.9%	355	345	292	965	92.5%	16,282	99.8%
目標	4,899	4,444	2,233	90.0%	90.0%	10.4%	352	308	329	1,070	87.5%	12,889	99.8%
目標達成率	103%	99%	106%	—	—	134%	101%	112%	89%	90%	106%	126%	100%
(参考) 過去3年度 平均	5,191	4,628	2,295										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

- ・当所では、充足・就職件数の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、ミニ面接会の取組を行いました。ミニ面接会は 11 回開催し、就職者の実績は 8 人でした。
- ・新規求職者が減少する中で、求職者のハローワーク利用勧奨を図るため、飯能市の広報に利用案内を掲載しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・職業相談部門の資質向上のため、制度改正時等に勉強会・研修会等を行い、業務の再確認を含め情報の共有化、適正・均等化を図り、求職者サービスに取組ました。
- ・訓練担当についても、随時訓練制度の改正等の研修会を行い、求職者サービス取組ました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

- ・基本業務の徹底を図るとともに、求職者への均等なサービスに努めます。
- ・求人充足に向けた取組として、個別支援やミニ面接会を実施し、求人者サービスに努めます。

（4）その他業務運営についての分析等

- ・平成 27 年度は、改善傾向にあるものの、有効求人倍率が低かったことから、事業所訪問による求人開拓を実施するとともに、事業所向けの会議・研修会・説明会を通じ、正社員求人を重点とした積極的な求人確保を図ります。
- ・職員、相談員の専門性をさらに高めながら、利用者サービスを図ります。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

今年度初めて、新卒者の職場定着のための企業向けセミナーを開催したところ、継続した開催を希望するなど、企業側から高い評価をいただきました。(参加事業所8社、参加者11名)

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者早 期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護 受給者等 の就職件数	障害者の 就職件数	学卒ジョブサポ ーターの支援に よる正社員就職 件数	ハローワークの 職業紹介によ り、正規雇用に 結びついたフリ ーター等の件数	—	—	—
実績	1,609	1,250	640	83.3%	96.6%	18.5%	91	103	258	371	—	—	—
目標	1,805	1,285	680	90.0%	90.0%	15.7%	77	100	255	362	—	—	—
目標達成率	89%	97%	94%	—	—	118%	118%	103%	101%	102%	—	—	—
(参考) 過去3年度 平均	1,920	1,345	688										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

ハローワーク業務の果たす役割である、求職者と事業主とのマッチング機能が重要であり、当所で特に取り組んだ事項は、求人が思うように増えない状況である中、確実なマッチングを目指し求職者のニーズを捉え、適格な紹介に心掛けてきた。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者の個人情報保護の重要性、マイナンバー制度の取扱開始を受け、職員一人一人が利用者の立場にたった個人情報保護の徹底を図るべく、基本動作の必要性を感じてもらえるよう研修を充実させた。

4 半期毎の個人情報保護管理の徹底研修のほか、他の研修時にも必ず個人情報保護に関する事項を付け加えた。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

当所の有効求人倍率が低調なことから、地方自治体・事業主団体を通じ各事業所への間接的な求人のお願ひ及び直接的な願ひを行い、少しでも多くの正社員求人の確保の促進を図りたいと考える。

（4）その他業務運営についての分析等

当所地域の景気動向が他の地域に比べ改善されない状況から、利用者への地域特性を図った情報発信が必要と考えられることから、地方自治体や事業主団体への情報提供の他、地域住民への情報発信を図る必要が考えられる。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者早 期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	障害者の 就職件数	学卒ジョブサポ ーターの支援に よる正社員就職 件数	公的職業訓 練の修了 3ヶ月後の 就職件数	—	—	—	—
実績	1,652	1,359	303	88.9%	96.1%	30.2%	52	62	30	—	—	—	—
目標	1,674	1,454	293	90.0%	90.0%	25.5%	41	47	15	—	—	—	—
目標達成率	99%	93%	103%	—	—	118%	127%	132%	200%	—	—	—	—
(参考) 過去3年度 平均	1,782	1,509	305										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職件数の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、解雇離職者、障害者や生活保護受給者など、就労支援の取組を行いました。

特に就職面接会（ミニ面接会）は 52 回開催し、参加求職者が 456 人、うち就職者が 80 人と、大きな効果があり、共催の白岡市・久喜市・春日部市からは、事業継続・拡充を要望されています。

また、平成 27 年度から新たに事業所画像の取組を強化しました。この取組については、利用者から「求人票だけでは分からない会社の実態がよく分かった」などの評価をいただいています。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、求人者から紹介が無いなどの意見があったため、求職者に対して未充足求人に対するアンケートを求め、その結果を基に紹介担当と求人担当との情報共有を図り、求人内容の明確化を図るなどの改善を行い再度の紹介に繋げ、求人者から評価を得ました。

業務改善については業務検討委員会を招集し、参加者の意見を踏まえ、自動音声案内の導入や初回認定日相談などの改善を行うとともに、サービス向上と業務簡素化を図りました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

所主催のミニ面接会は、47 回開催しましたが、当初の予定より参加者が少なかったため、他のハローワークの取組などを参考により多くの求職者の皆様に参加していただけるよう改善を図ることとします。

また、平成 28 年度からは、充足会議を強化し未充足求人先へ、紹介職員が訪問する取組を開始する予定です。この取組により、臨場感を持った相談の効果を見込みます。

さらに、初回講習については、訓練実施機関担当者からの直接の説明が、参加された皆様から大変好評であったため、実施回数の増加を検討します。

(4) その他業務運営についての分析等

平成 27 年度は、当所管内の主要産業である製造業・販売業の業績が不振であったものの、非正規雇用求人から正社員求人への転換件数は、100 件の目標に対して、実績は 107 件と目標を上回りました。今後も、求人開拓の重点を正社員求人とし、できるだけ多くの正社員求人を受理できるようにいたします。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

自治体の誘致企業等に対し、ハローワークと自治体・商工団体と連携して合同就職面接会を開催しました。また、閉鎖企業とハローワーク及び自治体の連携による就職面接会も開催し、49名の就職に結びつけました。

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者早 期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護 受給者等の 就職件数	障害者の 就職件数	学卒ジョブサポ ーターの支援に よる正社員就職 件数	ハローワークの 職業紹介によ り、正規雇用に 結びついたフリ ーター等の件数	正社員 求人数	—	—
実績	4,578	2,993	2,413	98.1%	93.3%	15.4%	204	337	117	696	8,874	—	—
目標	4,822	3,155	2,213	90.0%	90.0%	13.0%	193	229	114	890	8,646	—	—
目標達成率	95%	95%	109%	—	—	118%	106%	147%	103%	78%	103%	—	—
(参考) 過去3年度 平均	4,998	3,312	2,297										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、有効求人倍率（受理地別）が埼玉県全体より高いこと、製造職種の求人が多いこと、などから求人充足数の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、求人に対する担当制や新たに実施要領を見直した求人充足会議の実施、画像情報の収集、地元企業の面接会開催などの取組を行いました。

また、自治体との連携を密にし、ふるさとハローワークの運営、生保受給者等に対する出張相談などを積極的に実施しました。特に、実践型地域雇用創造事業を実施する加須市には、同事業で実施するセミナーや面接会の開催に積極的に協力をしました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、窓口の案内表示、パンフレットなどの陳列がわかりづらいなどの意見が多かったため、窓口の案内看板を直し、パンフレットの設置には対象者の表示をするなどの改善を行いました。

大阪局泉佐野所の「Progress プロジェクト」の取組を取り入れ、提案された 13 件について検討し、例えば初回講習の説明ツールにパワーポイントを使用するなどの改善を行いました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

雇用保険受給者の早期再就職件数の目標達成率が低調であることから、特に給付制限がかかる受給者に対して、再就職手当のメリットの説明、給付制限期間中の来所相談の勧奨の方法を改善していくこととします。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者早 期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護 受給者等 の 就職件数	障害者の 就職件数	ハローワークの 職業紹介によ り、正規雇用に 結びついたフリ ーター等の件数	正社員 求人数	—	—	—
実績	2,664	2,293	992	94.3%	98.2%	19.6%	204	151	351	6,294	—	—	—
目標	2,756	2,192	1,033	90.0%	90.0%	16.0%	193	135	364	5,772	—	—	—
目標達成率	97%	105%	96%	—	—	123%	106%	112%	96%	109%	—	—	—
(参考) 過去3年度 平均	2,847	2,292	1,058										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、地方自治体との連携の推進を重点項目として定め、その中で地方自治体との合同による高齢者や女性が働きやすい求人を中心とした就職面接会、人手不足産業の一つである介護職求人を集めた就職面接会、正社員求人の特化した就職面接会を計4回開催しました（実績は参加求職者が延べ134人、延べ就職者数は14人）。地方自治体からは、全員参加の社会の実現を加速する取組に併せて、高齢者や女性対象の就職面接会や介護職等福祉関連職種の就職面接会の開催について期待が高いことから、平成28年度においても開催時期や面接会求人の内容等について検討を行い、就職面接会を開催することとします。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者満足度調査における利用者アンケートにより、庁舎内外の環境、案内表示、パンフレット等の陳列に関し、利用者満足度が低いことが判明したため、駐車場、玄関・エントランス、事務室床面の改修等環境整備を行うとともに、案内表示やポスター掲示・パンフレット等の配架に統一性を持たせるなどの改善・見直しを図るとともに、所長を点検責任者とし、ポスター掲示やパンフレット等配架の統一性を維持し、利用者の目に留まりやすく、かつ、わかりやすい案内・広報に取り組んでいきます。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

求人・求職のマッチングを促進する目的で開催したミニ面接会については、平成27年度中の開催計画30回に対し、開催実績は36回を数えましたが、延べの就職件数は7件にとどまりました。平成28年度からは、求人に対する担当制を設定し、能動的マッチングから充足に至るまでのフォローアップを実施していくことから、その中でミニ面接会への誘導、また、新規・新設事業所や大量雇用予定事業所からの求人等についてもミニ面接会によるマッチングを進めていきます。

(4) その他業務運営についての分析等

平成 27 年度においては、新規求人数（常用）の前年度比 5.0%減に引きずられた格好で、正社員求人数が前年度比 3.0%減となり、正社員求人受理計画の進捗率は 94.3%でありました。前年度と比較すると、卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業、生活関連サービス業・娯楽業、サービス業からの正社員求人の減少が目立ち、それらが、求人・求職のマッチングにも良い影響を与えていないことから、求職者のニーズを把握・確認しつつ、第 3 次産業を中心とした正社員求人の開拓に取り組めます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者早 期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護 受給者等の 就職件数	障害者の 就職件数	学卒ジョブサポ ーターの支援に よる正社員就職 件数	正社員 求人数	新規高卒者 の就職 内定率	—	—
実績	3,813	3,352	1,839	96.2%	94.4%	16.2%	467	275	88	9,431	99.8%	—	—
目標	3,869	3,505	1,792	90.0%	90.0%	14.0%	355	229	75	9,973	99.8%	—	—
目標達成率	99%	96%	103%	—	—	116%	132%	120%	117%	95%	100%	—	—
(参考) 過去3年度 平均	3,966	3,637	1,680										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所は主要指標の雇用保険受給者早期再就職件数を重要と考え、給付制限期間中の相談誘導やグループワークを中心としたセミナーを開催してまいりました。就職セミナーとしては、平成 27 年度は 40 回、延べ 750 人の参加があり、雇用保険受給者早期就職件数につながったと考えております。講義式だけでなく、グループワークを取り入れることで、求職者の孤独感等の解消やモチベーションのアップにもなり、また、その後の窓口相談にもつながり就職が促進されていると感じます。また、セミナーを行う講師自身の技量の向上にもつながっていると思います。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

ミニ面接会については、事業主からの要望も多く、年間 12 回の目標を大きく上回る 29 回行いました。29 回のうち 5 回は、郵便局の大型区分作業拠点ができたことによる大量雇用の要請を受けたもので、地方自治体との連携をとりながら行い、100 人の採用につなげることができました。また、郵便局以外では、24 回行うことができ、31 人の雇用を促進することができました。今後も直接面接できる機会をふやすため、ミニ面接会は継続していきたいと思っております。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

今後、さらに早期の就職を図るため、新規登録時から求職情報一覧を渡し、就職意欲の喚起を図っていきたいと思っております。まずは、就職意欲の高く、求職者全体の 38% を占める事務職から始めていく予定です。また、人手不足業種の保育士求人について、求人担当者制や求人充足会議に入れて重点的に人材不足の解消に力を入れていきたいと思っております。

（4）その他業務運営についての分析等

有効求人倍率は上がってきておりますが、平成 27 年度は 0.58 倍と埼玉平均 0.89 倍に達していない状況のため、積極的に求人開拓を行いたいと思っております。また、できるだけ正社員求人を受理できるよう努めたいと思っております。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者早 期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護 受給者等 の就職 件数	障害者の 就職件数	学卒ジョブサ ポーターの支 援による正 社員就職 件数	ハローワーク の職業紹介 により、正 規雇用に 結びつい たフリー ター等の 件数	新規高卒 者の就職 内定率	—	—
実績	3,048	2,339	1,831	92.3%	100.0%	15.5%	276	187	281	437	100.0%	—	—
目標	3,147	2,331	1,585	90.0%	90.0%	12.8%	270	159	232	497	100.0%	—	—
目標達成率	97%	100%	116%	—	—	121%	102%	118%	121%	88%	100%	—	—
(参考) 過去3年度 平均	3,227	2,419	1,612										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職件数の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、ミニ面接会や求職者担当制などの取組を行いました。

特にミニ面接会は計 18 回開催し、面接人数が 234 人（平成 26 年度は 206 人）、うち就職者が 41 人（平成 26 年度は 52 人）と、大きな効果があり、事業継続・拡充を計画しています。

また、平成 28 年度からは管轄の市町との共催の取組を開始することを計画しており、この取組について、市町の広報機能を活用し、面接会参加者及びハローワーク利用者の拡充を目指しています。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者満足度調査では、求職者が 100%、求人者が 98.1%と全国および埼玉局の平均を上回ったものの、さらなる向上をめざし、求人受理の厳格化や求人担当制の導入を行いました。

また、建物の構造的から 1 階から 2 階への移動が分かりにくいことから、1 階受付から 2 階各窓口への色別テープを床面に設置しました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

ミニ面接会は 18 回開催しましたが、人手不足分野である建設・介護・保育分野の参加者が少なかったことから、（1）にもある管轄市町との連携による広報活動で、多くの求職者の皆様に参加していただけるよう改善を図ることとします。

平成 27 年度からは、毎月 1 回を目標に職員研修の取組を実施しており、さらに、今年度は研修項目を職員の希望を踏まえ、より実践的なものとし、職員の資質の向上を図ります。

（4）その他業務運営についての分析等

平成 27 年度は、当所でも求職者の減少傾向が継続したため、就職件数、充足件数とも目標にはわずかに届かない実績に終わりました。今後は、ハローワークサービスを外向けに一層周知を図るとともに、雇用保険受給者や求人検索機利用者を相談窓口へ誘導する方策を実施します。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

平成 27 年度において、職員の資質向上を図ることを目的に、職員・相談員を対象に原則毎月、職員研修を実施しました。所内における研修として実施し、全員参加（職員・相談員）を基本としました。関係機関等の外部講師を依頼しての研修も実施しました。
 (参加数) 4月：新規研修、個人情報、接遇、服務 (48名)、5月：相談員業務 (31名)、7月：個人情報、綱紀の維持 (46名)、9月：助成金関係、セクハラ (34名)、10月：個人情報保護、基準法関係[外部講師] (25名)、11月：雇用保険 (40名)、12月：職業訓練 (42名)、1月：個人情報マイナンバー関係、綱紀の維持 (56名)、2月：学卒、生保関係業務 (44名)、3月：個人情報、労働局セミナー (55名)

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者早 期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護 受給者等の 就職件数	障害者の 就職件数	ハローワークの 職業紹介によ り、正規雇用に 結びついたフリ ーター等の件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける担当者制に よる就職支援を 受けた重点支援 対象者の就職率	新規高卒者 の就職 内定率	—	—
実績	3,579	2,731	1,611	98.1%	100.0%	14.4%	292	214	564	93.4%	99.3%	—	—
目標	3,749	2,893	1,620	90.0%	90.0%	11.9%	231	177	537	87.5%	99.3%	—	—
目標達成率	95%	94%	99%	—	—	121%	126%	121%	105%	107%	100%	—	—
(参考) 過去3年度 平均	3,942	3,012	1,628										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率